

# 2050 としま ゼロカーボン戦略

TOSHIMA ZERO CARBON

概要版



豊島区は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

# 気候変動による地球環境への影響

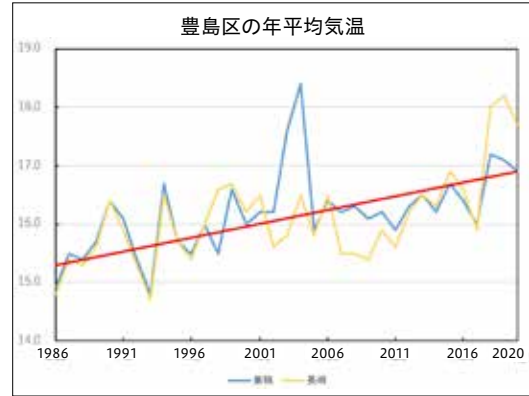
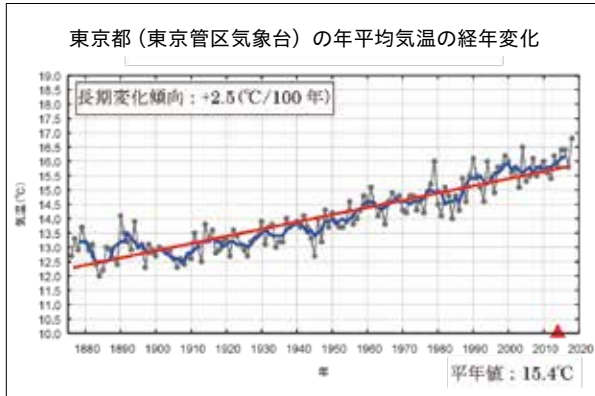
## 年平均気温の変化

世界 … 100年あたり0.75℃の割合で上昇

日本 … 100年あたり1.26℃の割合で上昇

東京都…100年あたり2.5℃上昇

豊島区でも近年の気温は上昇傾向



出典：東京管区気象台「気候変化レポート2018」  
※グラフ中の▲は観測場所の移転を示す

※平成25(2013)年度は巣鴨測定室の気象計故障のため、長崎測定室の記録を記載

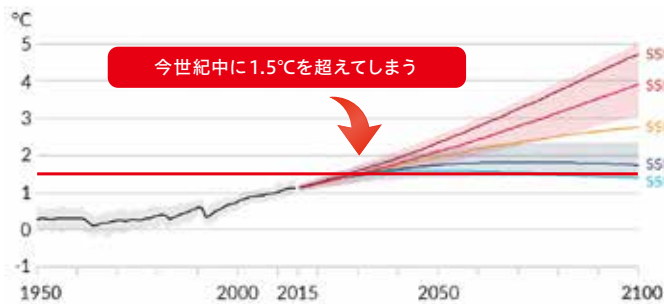
## 生態系に見られる影響

**ソメイヨシノ**  
▶1960年代…3月30日頃開花  
▶2010年代…3月23日頃開花  
60年で約7日早くなっている

**ツマグロヒョウモン**  
1980年以前は滋賀県や三重県よりも西に生息し、現在は東北地方でも見られるなど、生息域が北上しています。豊島区でも観察されています。

## 1850～1900年を基準とした世界平均気温の変化 (IPCC第6次評価報告書 政策決定者向け要約 (SPM))

- 世界平均気温は、想定されるどのシナリオでも今世紀半ばまでは上昇を続けます。
- 向こう数十年の間に温室効果ガスの排出が大幅に減少しない限り、21世紀中に地球温暖化は1.5℃及び2℃を超えます。



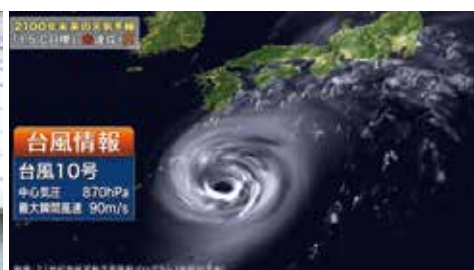
出典：IPCC AR6 WG1 Figure SPM6を加工して作成

### 参考

地球温暖化が0.5℃進行すると、熱波を含む極端な高温（可能性が非常に高い）、大雨（確信度が高い）等の強度と頻度に、明らかに識別できる増加を引き起こします。

## 未来の天気予報 (IPCC第5次評価報告書【RCP8.5】想定)

- 2100年夏の各地の最高気温は、東京43.3℃、名古屋44.1℃、札幌40.5℃を記録しています。全国の気温観測地約900か所のうち、140か所で40℃を超える「酷暑」となり、熱中症による国内の年間死亡者数は、1万5千人を超える見込みです。
- 中心気圧870ヘクトパスカル、最大瞬間風速90mのスーパー台風が発生すると予測しています。



出典：環境省「COOL CHOICEウェブサイト」「2100年未来の天気予報」

# ゼロカーボン

- 令和3(2021)年4月時点で日本を含む125か国1地域が2050年までにゼロカーボンを実現することを表明しています。
- 国内でも702自治体が「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明しています(令和4(2022)年5月末時点)。
- SDGs未来都市に選定された豊島区は、率先して気候変動問題へ対応すべく、令和3(2021)年2月に「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明しました。(23区で3番目、都内で4番目)

## ゼロカーボンのイメージ



出典：環境省 脱炭素ポータルホームページ

## 「2050としまゼロカーボン戦略」について

「2050としまゼロカーボン戦略」は、近年の国内外における動向や本区のゼロカーボンシティ宣言を踏まえて、2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向け、さらなる削減目標の上積みや気候変動適応への取組などの新たな方針を示すものです。戦略策定後は、環境基本計画の見直しを図り、2050年実質ゼロに向けた目標を反映するとともに、具体的な取組を位置づけ、計画的に進行管理していきます。

また戦略には、気候変動適応法第12条に基づく「豊島区気候変動適応計画」を包含しています。

### 2019年

脱炭素化の取組

### 豊島区環境基本計画

- 2019年3月策定
- 「2030年度温室効果ガス排出量を2013年度比39%削減」を目標とした具体的な取組を位置づけ、計画的に進行管理

### 2022年

ゼロカーボンに向けたスタート地点

### 【包含する計画】

- 豊島区地球温暖化対策実行計画(区域施策編)
- 豊島区生物多様性地域戦略
- 豊島区環境教育等行動計画

### 2050としまゼロカーボン戦略

(「豊島区気候変動適応計画」を包含)

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた2030年マイルストーンや、基本的な考え方、気候変動適応への取組などの新たな方針を掲載

### 将来的に

ゼロカーボンの取組を計画として位置づけ

### 「豊島区環境基本計画(2019-2030)」の見直し

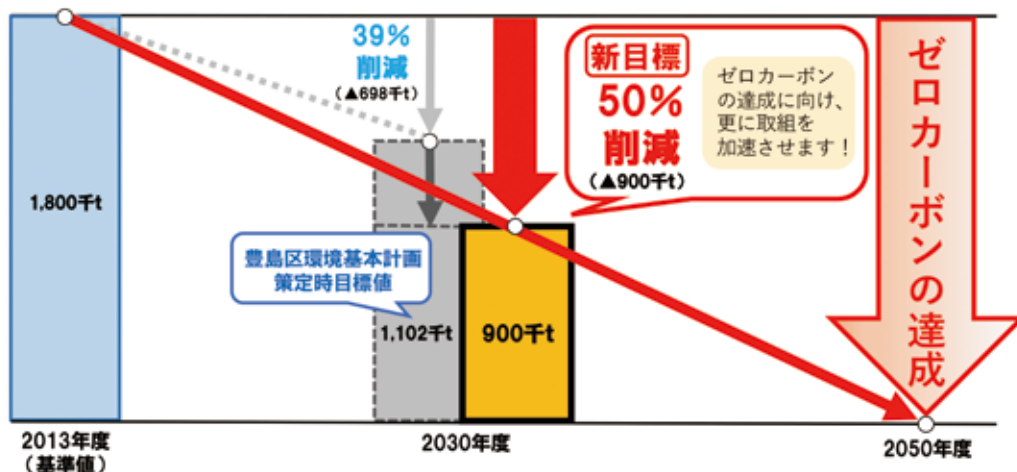
- 「2050としまゼロカーボン戦略」を踏まえ、2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた2030年の目標を反映し、具体的な取組を位置づけ、計画的に進行管理
- 「2050としまゼロカーボン戦略」と統合

## 削減目標の設定

豊島区では、国や東京都と連携し、地球温暖化対策の取組をさらに強化し進めていくことで、2030年度における温室効果ガス排出量について2013年度比50%削減を図っていきます。

### 【温室効果ガス削減目標】

2030年度における温室効果ガス排出量を2013年度比**50%削減**する。





# 2050年に向けた戦略

## 戦略に取り入れる視点

### ● SDGs 未来都市

豊島区「SDGs 未来都市計画」における環境分野の優先的なゴール、ターゲット。

- ・区に集う様々な主体による連携・協働を一層推進
- ・まち全体で温室効果ガス削減を進める
- ・都市整備の中で公共交通等の環境整備を行い、建築物の環境配慮やエネルギー有効利用を促進

### ● 国際社会との協調、国や東京都との連携

国際社会との協調を図り、2050年ゼロカーボン達成に向けて取り組むことにより、まちの魅力や価値を発信できます。また、国や東京都の方針や取組と整合・連携を図ります。

### ● 多様な主体との連携・協働

2050年ゼロカーボンに向け、区民、町会、商店街、企業、大学などと連携・協働し、「オールとしま」で取り組みます。



出典：豊島区「SDGs 未来都市計画」



## アクション1 環境にやさしいエネルギーの利用促進と省エネルギー化の推進

### 2050年 目指す姿

主に関連するSDGsの目標



- 太陽光発電などの設備が各家庭、事業所に最大限導入されていて、使用するエネルギーは、すべて再生可能エネルギー等の環境にやさしいエネルギーに切り替わっている。
- 区内を走る自動車やバイクが、温室効果ガスを発生させない車種に切り替わっている。
- 電力量の見える化や家電制御による電力のピークカットなど、効率的・効果的な省エネの取組が進み、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）が標準化されている。
- 電力量の見える化や機器の最適制御などにより省エネが徹底されており、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）が標準化されている。
- 都市の緑化が進み、まちの省エネルギー化が進んでいる。💡



### 2030年 目標

エネルギー消費量	△ 50% (2013年度比)
家庭への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数 (エコ住宅助成金)	1,800件 (累計)
事業者への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数 (エコ事業者助成金)	160件 (累計)
区内の太陽光発電設置容量	32,500kW
区内の太陽光発電設置件数	3,239件
緑被率	13.3%
緑視率が25%以上の箇所の割合	増加

### 2030年 東京都の目標 (ゼロエミッション東京戦略 2020 Update & Report)

再エネ電力利用割合	50%程度	燃料電池 (家庭用) の普及	100万台
エネルギー消費量	50%削減	燃料電池 (業務、産業用) の普及	3万kW
都内太陽光発電設備導入量	130万kW	乗用車新車販売台数に占めるZEVの割合	50%
乗用車新車販売非ガソリン化	100%	水素ステーションの整備	150か所
二輪車新車販売非ガソリン化 (2035年まで)	100%	EV (電気自動車) 用急速充電器	1,000基



### 若者の提言マーク

令和3 (2021) 年7月に実施した大正大学学生ワークショップにおいて出された意見。

## 区の実組

### 省エネ・環境にやさしいエネルギー

- ・脱炭素まちづくりの推進
- ・環境にやさしい自動車普及のための環境整備の推進
- ・地方との連携による再生可能エネルギーの調達推進

### 普及啓発

- ・環境配慮・省エネ対策への支援や啓発の強化
- ・新しいエネルギーやZEB、ZEHなどの普及啓発

### 緑化の実組

- ・地域と協働したみどりの創出、維持管理
- ・公共施設、道路等の緑化の推進

## 個人でできること

- ・環境にやさしい電力への切り替え
- ・省エネルギー行動の実践
- ・省エネ家電、環境にやさしい自動車の導入
- ・緑化の実組

## 事業者でできること

- ・環境にやさしい電力への切り替え
- ・省エネルギー行動の実践
- ・環境マネジメントシステムの取得及び適切な運用
- ・緑化の実組

## アクション2 未来へ向けたライフスタイルの転換

主に関連するSDGsの目標



### 2050年 目指す姿

- テレワーク、食品ロスのない生活、スマートムーブ等の脱炭素型のライフスタイルが定着している。
- 太陽光発電などの設備が各家庭、事業所に最大限導入されていて、使用するエネルギーは、すべて再生可能エネルギー等の環境にやさしいエネルギーに切り替わっている。(再掲)
- 一人ひとりが環境の課題を自らの課題として捉え、自分にできることを考えて行動できるようにするための環境教育・環境学習が充実している。



環境授業「校庭の自然観察」  
(巣鴨小学校)

### 2030年 目標

駐輪場の整備済台数	15,000台(累計)
「環境に優しいライフスタイルを実施している」と回答する人の割合	60%
自転車走行環境整備済路線	33.5km
「鉄道・バス等の交通が便利である」と思う区民の割合	90%
「池袋駅を中心として、居心地がよく歩きたくなるまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合	42%
食品ロスの削減に取り組む区民の割合	80%

### 2030年 東京都の目標 (ゼロエミッション東京戦略2020 Update & Report)

食品ロス発生量	半減(2000年度比)
ゼロエミッションバス(燃料電池自動車のバス)の導入	300台以上

## 区の実組

### 環境にやさしい交通環境

- ・IKEBUSの活用
- ・自転車交通環境の整備

### ウォーカブルなまち

- ・池袋駅東西のシンボルストリートを中心としたまちづくり



IKEBUSを活用した  
保育園児送迎の様子

### 普及啓発

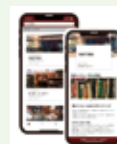
- ・DX化、ナッジ等の活用による啓発
- ・地域、学校、事業者等と連携した環境教育

### 食品ロス対策

- ・フードドライブ、食べきり協力店の推進
- ・フードシェアリングサービスの活用

## 個人でできること

- ・環境にやさしい交通手段の利用
- ・エシカル消費、グリーン購入の実践
- ・宅配BOX設置等による宅配便の再配達防止
- ・環境にやさしい電力への切り替え(再掲)
- ・食品ロスの削減、フードドライブの利用
- ・フードシェアリングサービスの利用



フードシェアリングサービス  
「TABETE」イメージ

## 事業者でできること

- ・環境にやさしい交通手段の利用
- ・グリーン購入の実践
- ・ICT活用等による環境にやさしい働き方、経営への転換
- ・環境にやさしい電力への切り替え(再掲)
- ・飲食店等での食品ロスの削減のための実組

## アクション3 資源循環・3Rの推進

### 2050年 目指す姿

- リユース容器や、使用済みペットボトルをペットボトルとして再生利用する「ボトルt oボトル」の容器使用が定着するなど、使い捨てプラスチックの使用ゼロが実現している。
- プラスチックの生産、リサイクルは全て再生可能エネルギーで賄われるなど、製造・流通・廃棄などの各段階での環境負荷最小化が実現している。
- ごみと資源の分別が正しく行われ、食品ロスのない生活が定着し、廃棄に係るエネルギー効率が最適化されている。

主に関連するSDGsの目標



### 2030年 目標

一人一日あたりのごみ量	470g/人日
資源化率	22.9%
食品ロスの削減に取り組む区民の割合(再掲)	80%

令和2年度の実績は541g/人日。  
一人一日タマゴ1個分(約70g)のごみを減らすことができれば達成できます!



### 2030年 東京都の目標(ゼロエミッション東京戦略2020 Update & Report)

一般廃棄物のリサイクル率	37%
家庭と大規模オフィスビルからの廃プラスチックの焼却量	△40%(2017年度比)
食品ロス発生量(再掲)	半減(2000年度比)

#### 区の実践

##### ごみを減らすための取組

- ・マイバッグ、マイボトルの推進
- ・ごみを減らす取組への支援

##### リサイクルの推進

- ・「プラスチック資源の分別収集」導入の推進
- ・最先端技術を活用した質の高いリサイクル

##### 普及啓発

- ・多様な情報媒体を活用した啓発
- ・多言語での発信等による分別ルールの周知

##### 食品ロス対策

- ・フードドライブ、食べきり協力店の推進(再掲)
- ・フードシェアリングサービスの活用(再掲)

#### 個人でできること

- ・マイボトル、マイバッグの利用
- ・フリーマーケットやリサイクル店等の利用
- ・ごみを出さない生活
- ・ごみの分別ルールを守る
- ・食品ロスの削減、フードドライブの利用(再掲)
- ・フードシェアリングサービスの利用(再掲)

#### 事業者でできること

- ・ペーパーレス化、梱包材の最小限化等による資源消費の抑制
- ・使い捨てカップやストローの廃止等によるごみの発生抑制
- ・ごみの分別ルールを守る
- ・飲食店等での食品ロスの削減のための取組(再掲)

## アクション4 区の率先行動

### 2050年 目指す姿

主に関連するSDGsの目標



- すべての区有施設で再生可能エネルギー由来の電力を使用している(100%脱炭素化)。
- 設置可能な区有施設にはすべて太陽光発電システムが導入されている。
- すべての区有車はZEV(電気自動車、燃料電池自動車等)になっている。
- グリーン購入や使い捨てプラスチック使用ゼロが定着している。
- カーボン・オフセットの取組が区内全体で定着している。
- 施設や学校がZEB化されている。



庁舎を覆う太陽光発電パネルと緑化パネル

### 2030年 目標

豊島区役所のCO <sub>2</sub> 排出量(事務事業)	△50%(2013年度比)
エコアクション21認定施設数	80か所(累計)
LED等高効率照明改修済施設数	13,334か所(累計)



## 区の実績

### 環境配慮型事業活動の推進

- ・グリーン購入の推進
- ・庁内プラスチック削減の徹底
- ・ICT活用による省資源化

### 二酸化炭素排出量の少ない電力採用

- ・環境にやさしい電力への切り替え

### 低公害車導入

- ・電気自動車や燃料電池自動車への切り替え



ハイブリット型清掃車

### 区施設におけるエコアクション21

- ・環境省策定のマネジメントシステムによる環境負荷軽減の取組

### 環境に配慮した区有施設

- ・太陽光発電システムの導入
- ・エコスクール化の推進



池袋第一小学校完成予想図(南側外観)

### 地方との共生・連携による環境への取組

- ・環境に配慮した電力の調達、地方との連携

## 気候変動の「適応策」(豊島区気候変動適応計画)

### 2050年 目指す姿

- 豪雨や台風に対する備えが十分にされていて、被害も最小限に食い止められている。
- 家庭では、熱中症や、自然災害への予防・対策が徹底、実践され、安全安心に暮らしている。
- 区有施設や学校、事業所において、気候変動の影響による被害が最小化されることにより、自然災害に対して迅速な回復が可能な、強靱で持続可能な社会が構築されている。
- 屋上緑化、街路樹、公園など、まちが緑であふれている。💡

主に関連するSDGsの目標



### 2030年 目標

雨水流出抑制対策積量	138,000m <sup>3</sup>
遮熱性舗装の整備済面積	53,500m <sup>2</sup>
気候変動(温暖化対策)に係る講座実施回数	10回(累計)
緑被率	13.3%(再掲)
緑視率が25%以上の箇所の割合	増加(再掲)
熱中症による救急搬送者数	減少
「家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている」と思う区民の割合	25%



みたけ通りの遮熱塗装

### 区の実績

#### 防災体制の強化

- ・一時貯留施設等の整備など、都市型水害対策の実施

#### 熱中症に関する取組

- ・熱中症予防対策モデル事業を踏まえた対策の推進

#### ヒートアイランド対策

- ・遮熱性舗装、熱交換塗料の使用の推進

#### 「環境モデル路線」の整備

- ・グリーンインフラの要素を取り入れた立教通りの整備

#### 緑化の取組💡

- ・都市空間の緑化、身近なみどりの育成の推進

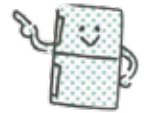
### 個人でできること

- ・適切な空調利用や外出時の熱中症予防
- ・緑のカーテン等の取り入れ
- ・安全安心メールの登録等災害への備え
- ・雨水浸透枳、雨水タンクの設置等防災対策

### 事業者でできること

- ・適切な空調利用
- ・スポットクーラーの導入等の熱中症対策(特に製造業、建築業等の現場)
- ・緑のカーテンの導入等緑化の取組
- ・災害時の社内対応を決めておく

# やってみましょう！ライフスタイルの転換



## キッチン編

冷蔵庫にものを詰め込みすぎない



詰め込んだ場合と  
半分にした場合  
CO<sub>2</sub>削減量 **21.4kg/年**  
約**1,180円/年**の節約



冷蔵庫内は見える化し整理整頓をしておこう。無駄になる食品を減らすために冷蔵庫の中身を買い物前にメモしたり、携帯電話で撮影して必要な分だけ買うようにしよう(引き出し式冷凍室は隙間なく食品を入れよう。食品同士が保冷し合うので、ドアを開け閉めしたときの温度上昇を抑えることができます。)

冷蔵庫の設定温度は適切に



設定温度を「強」から「中」にした場合(周囲温度22℃)  
CO<sub>2</sub>削減量 **30.1kg/年**  
約**1,670円/年**の節約

設定温度は季節に合わせて調整しよう

## リビング編

白熱電球から電球形LEDランプに取り換える



54Wの白熱電球から9Wの電球形LEDランプに交換(年間2,000時間使用)した場合  
CO<sub>2</sub>削減量 **43.9kg/年** | 約**2,430円/年**の節約

掃除機の中にたまったごみはこまめに捨てよう

バックいっぱいにごみが詰まった状態と未使用のバックの比較

CO<sub>2</sub>削減量 **0.8kg/年** | 約**40円/年**の節約

バック式は適宜取り換えましょう

掃除機は部屋をきれいに片付けてから

掃除機を利用する時間を、1日1分短縮した場合  
CO<sub>2</sub>削減量 **2.7kg/年** | 約**150円/年**の節約



## 入浴編

入浴は間隔をあけずに



2時間放置して4.5℃低下した湯(200L)を追い焚きする場合(1回/日)としなかった場合  
CO<sub>2</sub>削減量 **85.7kg/年**  
約**6,190円/年**の節約

シャワーは不必要に流したままにしない



1分間短くしよう  
45℃の湯を流す時間を1分間短縮した場合  
CO<sub>2</sub>削減量 **28.7kg/年**  
約**3,210円/年**の節約

上の取組を全部やってみると… 約 **14,870 円/年**の節約に！  
**213.3 kg/年**のCO<sub>2</sub>削減効果！

区内全世帯の  
約**17.8**万世帯が実践すると  
約**3.8**万t-CO<sub>2</sub>削減

2018年度家庭部門  
CO<sub>2</sub>排出量の約**9%**に相当！

※資源エネルギー庁ホームページ「無理のない省エネ節約」より。  
「省エネ性能カタログ2015年夏版」(資源エネルギー庁)及び「家庭の省エネ大事典2012年版」(一般財団法人省エネルギーセンター)を元に、一般社団法人省エネルギーセンターの実測値に基づき作成されており、ご使用の機器、居住地域、住宅などにより異なります。

## 表紙のご紹介

表紙のイラストは、豊島区が実施している「環境とリサイクルに関するポスターコンクール」の令和2年度、3年度の入賞作品の中から、ゼロカーボンに関連する作品を掲載しています。(学校名は応募当時のものです。)

### ● 中央左側から時計回りに

- 「地球が暑がっているよ」要小学校/黒田 優花さん
- 「僕たち居場所がありません」豊島岡女子学園中学校/地口 夕渚さん
- 「STOP 地球温暖化」池袋中学校/越後谷 太耀さん
- 「クルクル!リサイクル」池袋第三小学校/神谷 優里さん
- 「塵も積もれば山となる」高松小学校/内田 莉野さん

- 「リサイクルされたい」要小学校/佐久川 政海さん
- 「かんきょうで金メダルをめざそう!」池袋本町小学校/江口 怜花さん
- 「ゆたかなしぜんを守ろう」池袋第三小学校/常石 悠粋さん
- 「わたしもマイバック」池袋本町小学校/北原 聖梨さん